

## 達成状況評価書(平成24年度)

**部署名:総合学術博物館**

項 目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p><b>【年度計画の達成状況】</b> 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p><b>【特記事項】</b> 平成24年度は、展覧会をはじめ、サイエンスカフェや自然観察会、小学生理科教室、講演会、高等学校等や外国賓客の団体見学など、広く社会に向けて様々な発信を行うとともに、新型基礎セミナー「実践的博物科学」の開講や各種団体の博物館見学の実施など積極的に取り組んでいる。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p><b>【年度計画の達成状況】</b> 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p><b>【特記事項】</b> 平成24年度は、文化財科学への物理化学的手法の応用を進めるための「ナノスペースにおける簡単な吸着分子のダイナミクスに関する研究」のほか、「近世近代の大阪の美術史と社会との関連に関する研究」、「懐徳堂と絵画に関する研究」、「薬用資源の保全と活用に関する基盤研究」など、積極的に取り組んでいる。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p><b>【年度計画の達成状況】</b> 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p><b>【特記事項】</b> 平成24年度は、館員の研究成果が展覧会に結実した第15回企画展「ものづくり 上方“酒”ばなし 一先駆・革新の系譜と大阪高工醸造科一」展を、文理融合型展覧会として開催し多大な成果をおさめるなど積極的に取り組んでいる。また、適塾記念センター、21世紀懐徳堂、各部局等と相互に連携を強化し、各種の講座やセミナーなどの催事を効率的に行い、取組件数、参加者数等の増加が見られるなど、大学の年度計画の達成に貢献している。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	<p><b>【年度計画の達成状況】</b> 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p><b>【特記事項】</b> 平成24年度は、自治体や国立公文書館などと連携し、特色ある展覧会や記念講演会等を実施するとともに、寄託された具体美術協会関係資料を、国内にとどまらず、海外美術館にも貸し出すなど大学の実績として評価できる。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p><b>【中期計画の達成状況】</b> 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p><b>【特記事項】</b> 平成24年度は、学内の各部局や学外の自治体や諸機関等と相互に連携を強化し、特色ある展覧会や記念講演会、各種の講座やセミナーなどを実施したことは、大学の実績として評価できる。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>